



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262 TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096 URL http://www.narumigaoka.jp/

退任に際し、これまでの支援に心からの感謝を

前同窓会会長 岩岡保宏



高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」の皆様におかれましては、益々お元気にて、お過しのことと拝察致しております。

日頃より、母校並びに同窓会の発展に絶大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。

この度、私事ではありますが、会長退任のお許しをお願いしております。八月末の総会で、ご承認を頂きましたことを先ずご報告申し上げます。

振り返ってみますと、平成十五年八月九日の同窓会総会に於て、当時の税田格十会長から、「次期会長を」という思いもよらなかつた大役のご推薦を頂きました。

その後、拜命より七年が無事に過ぎた事は、多くの方々のご支援、ご協力の賜だと厚くお礼申し上げます。運営は三役会で話題となったことを、理事会でご意見を聞き、更に評議員会で検討し、貴重な提案や、要望を取り入れながら、総会で決定して来ました。このシステムを経て、毎年、少しずつ改善され、今日に至ったように思います。

私の任期中に「一緒にいたい」た学長は、寺田建一校長、齊藤薫校長、河野包校長、前田哲司校長でした。先生方には忙しい中、数多くの同窓会の会合、県外の支部総会等々に参加して頂きました。学校の状態を説明して戴き、遅くまでのお付き合ひまで御苦労様でした。生徒の皆様も頑張ってくれました。それぞれ高鍋高校のよき伝統を立派に守ってもらい、ありがとうございました。

高鍋高校同窓会は、全国的にも類を見ない程盛大で、素晴らしい「OB祭」を開催してきました。高鍋中央公民館がいつも満席になるどころか入場券も手に入れない状態でありました。

これは毎年、担当の学年が一致団結して練り上げた舞台であったからだと思います。平成二十二年度の「OB祭」は口蹄疫、非常事態宣言の為に中止となりましたが、担当学年は、「義援金」を集め、郡内五町に献金しました。ご苦労様でした。

この呼びかけに応じて下さった会員の皆様方、特に在京、関西、名古屋、福岡支部の方々のご協力とご支援に、心からの敬意と感謝を申し上げます。次年度からの担当学年も、中央公民館が満席のOB祭になるよう緩むことなく頑張ってくださいと期待しております。

各年の、実行委員のみなさん、

ご挨拶

新同窓会会長

増田秀文

(増田工務店代表取締役社長)



今年8月の総会におきまして、7年間にわたり会長を務められた岩岡保宏の後任として御承認を賜り、会長を務めさせていただきますことになりました。

鳴海ヶ丘会は、全国各地に3万人近くの同窓生の皆様がおられ私にとりましては大変な重責を担うこととなり、事の重大さを改めて痛感しているところでございます。ただ、経験豊かな顧問や副会長の方々がいっぱいいますので心強く思っているところです。

同窓会は現在いくつかの支部組織があり、それぞれの地域で同窓会が開催され、会員間の交流が活発に図られ親睦を深められています。高鍋高校の卒業生だということだけで親しく話ができて、全ての同窓生が母校を懐かしみ、母校の更なる発展を願う気持ちで同窓会の素晴らしさだと思っております。私もそのことを念頭に活動していきたいと思っております。

高鍋高校は平成24年に創立90周年を迎えます。私共同窓会としてもそのことを心からお祝いし、その周年事業に積極的に取り組むたいと考えています。

これからの会員皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご活躍をご祈念申し上げます。退任のご挨拶と致します。

高校 E-mail takanabe-h@miyazaki-c.ed.jp 同窓会 E-mail info@narumigaoka.jp

「在京同窓会総会」報告

事務局長 児玉博

当在京同窓会の総会は、去る7月17日(土)に、大手町サンケイプラザホールで開催しました。当日は、高鍋から、前田校長先生、藤本先生、並びに岩岡会長、増田新会長がご多忙な折にもかかわらず、ご臨席されました。また、昨年に引き続き米沢興譲館高校同窓会の神野会長と吉田幹事長をお招きし、出席者総数は135名となりました。

総会においては、任期2年が終わる会長の選任を諮り、現会長の中野秀樹さん(S30年卒)に、引き続き留任して頂くことになりました。



口蹄疫騒動が尾を引くなか、会場の盛り上がりには懸念もしていましたが、OB祭実行委員会(S62年卒)による口蹄疫義援のオークションには、プロゴルフのトッププレイヤーのサイン入りの品々が多数かけられ、熱気も帯びてきました。なお、このオークションには、会長お二人の方から、書の自作作品、協賛企業提供の景品が当たる抽選会と、最後を締め上げる歌斉唱で、会は大いに盛り上がり終了しました。



皆さんのご協力に心からお礼申し上げます。以上

「関西支部総会」報告

高鍋高校関西同窓会常任理事 小柳浩

平成22年度の関西支部総会が7月24日に大阪の道頓堀ホテルで開催されました。

高鍋からお越しいただきましたご来賓の方々に加えて今年度のOB祭実行委員の方々にも出席いただき、約100名の参加者で盛大なものとなりました。猛暑の中遠路よりご参加いただき誠にありがとうございました。

1部総会では議事に続き今年発生した口蹄疫の義援金募金の活動報告がありました。関西支部の同窓会会員の皆様のご好意によりたくさん義援金が集まりました。ありがとうございました。

2部懇親会では関係者による近況報告の後、近畿日向会ひよっとこ同好会の皆様による余興「ひよっとこ踊り」で盛り上がり、福引大会で楽しんだ後閉会となりました。今年には口蹄疫の影響で例年行なわれていたOB祭が大幅に

縮小して実施されました。私もOB祭担当の昭和62年卒業同窓生の1人として残念な思いでした。そのような状況の中で開催されましたので参加人数や会の盛り上がり等で心配な部分もありましたが、地元への思いがより強くなり結束が高まったいい会になったのではないかと思います。



関西支部は今年創設45周年となりました。先輩方が築いていただいた伝統を大切に50周年に向けて私も微力ながら貢献できるように活動していく所存です。今後ともご指導よろしくお祈り致します。

なんきんばせ

高鍋高校に勤務して、早くも半年が過ぎました。新しく鍋高にいられた先生方の多くがその挨拶のよさに感心されます。校内では生徒たちがすれ違う際に必ず挨拶をしてくれます。すべての生徒がと言っても過言ではないくらい必ずしてくれそうです。私は高鍋町に住んで6年になります。近所で鍋高生とすれ違う時も挨拶をしてくれる生徒が多いです。夜道を歩いていて、自転車で後ろから追い抜かれざまに「こんばんは!さよなら!」と元氣よく言われて驚いた経験も一度や二度ではありませんが、卒業生としても高鍋町民としても非常に頼もしく嬉しい気持ちにさせられます。

数年前にオリコンが現役で働く20~40代の男女に「新入社員に求めたい力」というアンケートを行ったところ、7割近くの票を獲得して「挨拶力」が1位でした。コメントを見ていくと、「第一印象はまず挨拶。これが基本だと思う」との声が大多数で、「どんなに仕事ができても、挨拶ができなければ話にならない」などの意見も多く、さらに「最近しつかりと挨拶できる人が少ない」という指摘も目立ち、挨拶力が求められる背景や当たり前であるはずの挨拶がどれだけ重要なコミュニケーションであるかがよく分かります。そしてきつと多くの鍋高生はすばらしい挨拶力を持った社会人になるだろうとも思います。

前の学校である先生が「挨拶されて怒る人はいない。知らない所ではまず挨拶!」と生徒に話されているのを聞いて非常に納得しました。鍋高生には今さらながら、このすばらしい校風をこれからもずっと大切にしたいと心から願っています。(橋本清也)

OB祭のお礼

平成22年度高鍋高校OB祭実行委員会委員長 **松田 光生**

今年のOB祭の担当をしまして昭和六十二年卒業生を代表してお礼申し上げます。伝統あるOB祭の担当をする今年の為、数年前から準備を進めて参りました。万全の態勢で臨んだ今年でしたが、口蹄疫の影響で大幅に縮小、変更となりました。しかし、この事が同窓会との結束、鳴海ヶ丘会員の皆様の団結、仲間への思いやりに気づくことになりました。



義援金への活動では、会員の皆様が県内をはじめ在京、関西、名古屋、福岡の四支部でたくさん義援金を集めて頂きました。そのほとんどに故郷を想うメッセージが添えられていたとのこと。この事を知ったとき、

OB祭を振り返って

平成22年度高鍋高校OB祭実行委員会副委員長 **小嶋 哲也**

平成22年度OB祭は、「和」を手をつなごうをテーマに取り組みました。例年よりも早くから始動しゲストも決定、これからというときに口蹄疫による非常事態宣言が出されました。協賛企画アンケートでも、八割近くの反対意見を受け、その内容を大きく変更することになりました。

「私たちにできることは何か?」自問自答する中で、今こそ手と手をつないで大きな和を作るべきだと、口蹄疫義援金の取り組みと在校生に熱い想いを伝えたい。

口蹄疫義援金活動報告について

平成22年度高鍋高校OB祭実行委員会事務局 **山本 俊彦**

今回、私達昭和六十二年卒同窓生は、口蹄疫の影響を受け、OB祭の開催を断念。それに伴う協賛・広告活動を中止し、自分達の負担金を義援金として郡内五町に配分する活動に転換致しました。一方で県内外の鳴海ヶ丘会会員の皆様に対し義援金の協力を呼び掛け、その結果県内をはじめ、在京、関西、名古屋、福岡の四支部より二百八十二万円のご支援を頂き、総額四百万円を復興支援の一助として各町に八十万円を配分する事が出来ました。特に鳴海ヶ丘会各支部の

役員の皆様には、特段のお骨折りを頂き感謝の言葉もありません。今回OB祭の実行委員の一人として、『和』手をつなごうというテーマのもと、二十数年ぶりの同窓生と一緒に同じ目標に向かい活動できた事は生涯の宝だと確信しております。最後に、私達の呼び掛けに対し、快くご協力頂きました高鍋高校同窓会の皆様に対し深く感謝の言葉にかえさせて頂きます。ありがとうございます。

いよいよ

平成23年度高鍋高校OB祭 実行委員長 **木之下 健太郎**



来年度のOB祭を担当します。昭和63年卒業生を代表してご挨拶を申し上げます。

高校を卒業して23年目の来年度、いよいよ高鍋高校OB祭を担当することになりました。伝統あるOB祭に対する周囲の期待に重責を感じながらも、企画運営できることを誠に光栄なことであると身が引き締まる思いであります。

さて、皆様もご存知の通り、今年度のOB祭は4月末に発生した口蹄疫の影響を受け、先輩方の苦渋の決断により、急遽、規模を縮小して実施されました。それまで着々と準備を進めてきた先輩方にとっては非常に残念であったろうと思います。しかし、先輩方の勇気ある決断、行動そして団結力により今年度のOB祭も例年に負けずと劣らない未来に繋がる素晴らしいOB祭となりました。

そんな先輩方の姿を拝見し、私達も、先輩方を手本にして来年度のOB祭の成功に繋げていかなければと誓い合ったところでありました。私達同窓生もいよいよ来年度に向けて活動を始めました。まだまだ、右も左もわからない状態ではありますが、諸先輩方々の築いて来られた伝統の「OB祭」を引き継ぎ、今一度OB祭のあるべき姿を同窓生一丸となり考え、話し合い、精一杯取り組んでまいり所存であります。皆様のご指導ご鞭撻、ご支援の程、よろしくお願ひします。

鳴海ヶ丘祭を終えて

生徒会長 204 **平原 菜南子**

今年の鳴海ヶ丘祭は、実行委員長として本当に良い体験をさせて頂きました。七月から生徒会や実行委員と一ヶ月話し合い、計画や準備を進めたり、アサインが起きました。不安や焦りばかりの毎日でした。実行委員は、学校で走り回り色んな人にもありました。泣きながら帰る度にみんなで励ました。あんなに終わって来ませんでした。鳴祭が終わった時、みんなの笑顔が見たら涙が止まりませんでした。初めて裏方をしました。大声で応援した事も、泣きながら歌った事も、不安も、押し潰されそうになった事も、前日みんなで陣を組んだ事、一日一生忘れられない思い出になりました。本当にありがとうございました。



ファッションショーを終えて

307 **田中 りこ**

このファッションショーは、生活情報科の授業で身につけた技術を発表する場です。今年度は「TGC」(高鍋コレクション)と称し、演出にも凝りました。最後までやり抜くことができました。最後まで皆さんの支えがあったからです。一生の宝物になりました。生情最高☆



クラス旗第一位

204 **松浦 海徳**

今年度は学年制作で初めてクラス旗を製作することになり、0からのスタートで始めました。皆からアイデアを集め、どんな風に表現したらいいかと、練案が決定し、作成中も、合唱練習と並行しながら進め、皆がクラス旗作成に携わり、最高の旗が出来上がりました。

最高の三日間

青団団長 306 **赤木 亮介**

今年の鳴海ヶ丘祭は人生最高の三日間となった。体育の部では優勝旗を二本手にした。青団が今年の青団は間違った。歴代最高の団だったと思う。楽しくて最後の行事が溢れた。三年間、

支部総会のお知らせ

- 福岡支部総会 11月27日(土) 17:30受付 18:00開会
ホテルクリオコート博多
- 名古屋支部総会 12月4日(土) 11:30受付 12:00開会
アパホテル名古屋錦店
- 宮崎支部総会 (宮崎支部・県庁・市役所支部合同)
11月19日(金) 18:00受付 18:30開会
ニューウェルシティ宮崎

平成22年度 表彰伝達式

大会名	競技名	競技種目・成績	学年・クラス	氏名
第55回宮崎県吹奏楽コンクール高校Aパート	吹奏楽	銀賞		
第65回九州合唱コンクール	音楽	銅賞	205	後藤 早希
第38回宮崎県高等学校独唱独奏コンクール	音楽	ピアノ部門銅賞	205	後藤 早希
平成22年度美術実技コンクール	美術	風景画部門最優秀賞	201	坂井 佳帆
		風景画部門優秀賞	101	吉岡 里緒
平成22年度県一年生大会	水泳	男子50m自由形第1位	105	河野 匠
		男子100m自由形第1位	105	河野 匠
		女子100m平泳ぎ第2位	103	中野 優花
	陸上	男子3000m 5位	102	小川 雄也
	ラグビー	第1位	105	後藤 大輝
		第2位	103	佐藤皓太郎
テニス	女子団体第2位	105	柴田佳奈子	
	男子団体第3位	104	松本 晃弥	
空手	男子団体組手第3位	106	川畑 証喜	
	水泳	50m自由形優勝		河野 匠
100m自由形優勝			河野 匠	
200m個人メドレー第3位			中野 優花	
400m個人メドレー優勝			中野 優花	

総会
今年度の総会が、8月28日(土)ホテル四季亭で開催され、新会長に増田秀文氏が選出されました。また、規約改正を行いました。

規約の主な改正点

- ・三役会を組織上に位置づける。
- ・表彰規定と慶弔規定を定める。

同窓会名簿
7月20日に十年ぶりに同窓会名簿を発行いたしました。販売合計二、九六三冊でした。皆様にはいろいろな点でご迷惑をおかけいたしました。

〓退任祝賀会
岩岡保宏会長と藤本範行事務局長の退任祝賀会を11月3日文化の日にホテル四季亭にて開催いたします。

16時受付 17時開宴
会費 四千元

高鍋支部代表者会
11月25日(木)
18時30分 高鍋美術館

青春のページ

赤団団長 302 **黒木 勇希**

高校生活最後の鳴祭で団長になった。今年の鳴祭は三年間の一番のものだった。誰一人として手を抜かず、盛りに上がった。この鳴祭で見せた「高鍋魂」を部活や勉強に生かして下さい。

